

あなたの願いは何ですか？



保護猫活動支援に全力 

共に叶えて参りましょう！

日野市議会議員 奥野りん子

市民と共に実現しました

「18 歳までの医療費の無料化」や「学校給食の無償化」「補聴器への助成」等は、奥野りん子も要求してきた事ですが、基本的には、都が予算化した事に伴い実現した施策です。奥野りん子は、自分自身が先頭切って頑張り、「日野市に予算化させた施策」のみ、紹介するようにしています。

- 大坂上都営住宅前にミニバスを通す
- 日野第一中学校の建て替え
- スケートボード練習場の確保
- 日野駅から大坂上駐輪場までの歩道の拡幅
- 視覚障がい者の同行援護 50 時間に拡大
- 元副市長を逮捕に追い込み 4 億円を返還させる

財源論について 「貯金が 65 億円あるから財源はある」は無責任！

65 億円は、税収は上向きではない中、財政非常事態と言って市民サービスを切り詰め、一時的に溜まった額です。「経常経費の財源」として「貯金」を一律にバラまいた場合、すぐにそこを突いてしまいます。



右枠内は、次の四年間の重点政策です

市民と共に実現します

- 低所得者を対象としたクーラー・ヒーター代への補助
- 老朽校舎の建て替えを促進し、市内業者への発注を増やす
- 体験農園、しゃべり場、遊び場・・・無料の居場所づくり
- 日野市が「介護公社」を設立し、困難家庭を引き受ける
- 保育・介護・障害福祉にあたるケアワーカーの賃上げ支援
- 百草園通りにミニバスを走らせる

「飼えなくなった猫」も保護対象に！

「高齢者が飼えなくなった猫」も、保護の対象となりました。さらに、多頭飼育崩壊を防ぐため、「公的シェルターの設置」も要望しています。

生理用品に続き、「ゴミ袋」も配布

「生理用ナプキンだけでなく、ごみ袋も配布して欲しい。」というご要望を受け、議会で取り上げた結果、公共施設で無償配布している生理用品袋の中に、ごみ袋もセットされるようになりました。